

# い守口市の

今回は、橋波商店連合会・甲斐義人会長と近畿刃物工業株式会社・阿形清信代表取締役社長にお話を伺いました。

近畿刃物工業株式会社  
阿形 清信 代表取締役社長



会社のイメージキャラクター



## 日々変化!社員を大切に!!

### 会社で製作しているものについて

教えてください。

段ボールを組み立てる前の形を思い出してください。段ボールには切られた溝がありますね。その溝を切る刃物を主に製作しています。

### 技術的に難しいところ、あるいは得意な技術はどのようなことですか。

簡単に言えば弊社の工法は、デザインおよびオーダーメイド(注文を受けて作ったもの)の素材の取り扱いから始まり、最新型大型レーザー加工切断機で精密加工を行い、最新高速マシニングで微細刃先加工、無酸化対策熱処理など創意工夫と設備の見直し・改善を行い、完成まで自社で一貫生産しています。

必要なものしか残らない世の中の産業において、段ボールというのは特殊な消耗品のカテゴリーの分野ではあるものの、常に新しい技術を取り入れています。そこからスタッフのモノづくりへの好奇心、製造に対するプライドが顧客満足度を高めています。

また、商品の記録を電子化しているので、納期ではパワフルに対応しています。

### 続いて、会社の経営方針でどのようなことに力を入れていますか。

経営理念は、「安心して眠れる会社、笑って働ける会社」。一見内向きに見える理念ですが、自らが満足できな

いものに対して顧客を満足させる自信を日々積み重ねて、自らの不本意なサービスをしないという事です。

顧客満足を得るために自分たちが苦勞し頑張っても、それは続かない。自分たちがやる気を出せる環境や、やりがいなどを見つけて、良い商品を作り認知してもらう。そこから、自社のファンになってもらいたいと考えます。

また、社員とともに楽しむために、さまざまな福利厚生に力を入れていきたい。今年から大阪のプロバスケットボールチームのオフィシャルパートナーになり、新たなコア(中核)会社として応援に行けるプロスポーツの参画、自分たちはこれからもたくさんの人とのつながりを持ち、職場というものを通じてつながっていく…それが、CSR(社会的責任)だと思っています。

そのような会社の仕組みが社会の中においての会社の向上につながるとしています。

### 技術の伝承に苦勞されていると思いますがどうされていますか。

「誰かがせなあかん」という環境を作ること!!「休んだ社員がいればその穴埋めは他の社員がする」それが技術の伝承ですね。

### 社長の強い想い

新しい技術という意味では、生産性の高い装置・機械を導入し、品質・生産能力・付加価値をあげることは重要です。

何事も単なる入れ替えだけならおもしろくない!時のニーズに合わせ、色んな景色を変えて進化していきたいですね。



### 最後に

何事も楽しく取り組まれる阿形社長のあたたかさになれることができました。

守口市にはまだまだ素敵な会社があります。ぜひ、地元守口市に目を向けてください。

# 知ってほしい いろいろ



橋波商店連合会  
甲斐 義人 会長

## まず、商店街の特徴について教えてください。

京阪守口市駅から700mぐらいの位置に発生した商店街で、もともと新開地、三和、万来、新開地中央の各商店街と橋波市場共同組合の5団体で、橋波商店連合会を形成して現在に至っています。

## 商店街のアピールポイントを教えてください。

商店街の象徴として、やるき地蔵というものがあり、その地蔵さんが変わっていて、ガッツポーズをしています。商店街の店主が高齢化している中で、お年寄りに優しいコミュニケーションが取れるよう、気軽に30分から1時間ほど話せる店が多くなり、地域に密着した商店街です。

## どのようなイベントなどをしていますか。

西郷通商店街とタイアップしている「やるき100円商店街」というイベントで、毎年3回実施しています。あと「ポイント交換会」は、300ポイントにつき500円の連合会で使える商品券に交換できます。1回100ポイントで「中元・歳末ガラガラ抽せん会」での抽せんができますし、女性部イベントの「糸引きゲーム」は、3店舗分のレシートで1回ゲームができます。いろいろな店に回ってほしいとの思いから考えました。ポイントは「ララカード」に貯まります。各店舗に端末があり、100円につき1ポイントで、損をしないようなポイント還元になっています。

## 商店街の課題に向けて、これからどのように工夫していこうと考えていますか。

シャッター店舗が多いので、チャレンジショップなどを誘致し、家主さんとも協力しながら1軒でも開業できればと考えています。府の協議会の商店街活性化事業で、今まで忘れていたり、見つけきれなかったものが、たくさんあることを少しずつ認識できました。市のサポートがあつてのことだと感謝しています。

商店街に足を向けてもらうため今後、参加型のイベントを実施していきたい。買い物客と店主と一緒に楽しめるようなイベントを考えています。

昨年のいい夫婦フェスタのときに、やるき缶バッジを作って配布しました。今回100円商店街でも考えています。今

後は、缶バッジや、やるき札も販売しようと企画中です。

イメージキャラクターには、「やるき地蔵」「ララちゃん」「やるきくん」があり、缶バッジやマグネットなどのグッズを作りました。

今後は、子どもさんをお持ちの若いお母さんにアピールできたらと思っています。

また、老人世帯に特化したマンションへ月に1回、注文を受けて商店街各店の商品を預かり、1時間ほどの出張販売に行っています。商店街の中だけの販売ではなく、外に向けて出かけて行こうという試みです。お年寄りの購買商品の構成などもわかりますので、各店舗と情報を共有しています。

店主も高齢化していますが、商品を大量に仕入れて販売するのではなく、小分けして販売していくような形もあれば、また違った魅力も出てくると考えています。

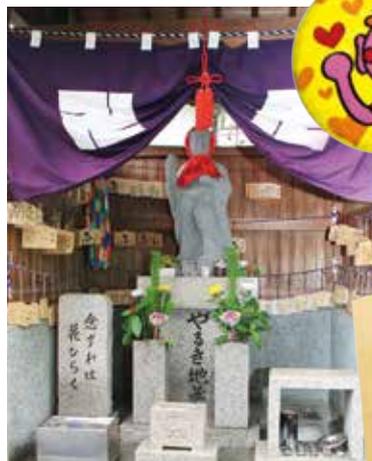
## 最後に

本当にガッツポーズをしているような姿をした、やるき地蔵にはびっくりしました。

地域に根ざした商店街を活性化させるために、若い親子と一緒に買い物に来るよう、いろいろな集客イベントを行う。また高齢の人が、ゆっくり買い物ができる環境を作るなど、若い世代からお年寄りまでが安心して楽しめる商店街を目指しているのだと感心しました。

市民の皆さんも、一度やるき地蔵に会いに行ってみませんか。

# 商店街



ガッツポーズをしている「やるき地蔵」



イメージキャラクターの「やるきくん(上)」「ララちゃん(下)」の缶バッジ

